



# 六甲山魅力再発見市民セミナー

市民セミナーVol.68  
再度山大龍寺の今昔物語  
/井上 宥恵  
2008年11月発行

## 第68回テーマ： 再度山大龍寺の今昔物語



紅葉の大龍寺と井上副住職



講師：井上 宥恵さん  
プロフィール

1950年生まれ、58歳。広島県出身。日本大学法学部卒。京都醍醐寺の伝法学院卒。昭和56年に再度山大龍寺に入山。大龍寺副住職。加古川学園の仏教教誨師、しあわせの村老人大学講師なども歴任。

### 講演内容

- 再度山大龍寺の歴史と文化
- 再度山の自然と生活の魅力
- 大龍寺の縁起や教誨師の仕事

実施日：平成20年11月15日（土）  
午後1時～3時45分  
場 所：六甲山自然保護センター

### 紅葉が色づきはじめた六甲山

11月中旬の六甲山は、表六甲ドライブウェイから緑の中に黄葉や紅葉が目につくようになっていきます。山上は寒くはなく、晴れたり曇ったりの天候で、記念碑台に多くの人ハイキングで訪れていました。自然保護センターは11月末で冬季休館しますので、シーズン最後の賑わいの様子でした。

### 皆に親しまれている井上さん

講師の大龍寺副住職の井上宥恵さんは、愛娘の裕子さんとご一緒でした。檀家の方も数人ご出席され、親しみ易い雰囲気になりました。



井上副住職とお嬢さん

住職の井上仁性さんの娘さんにご結婚された経緯をうかがうと、「お寺が先だったか？ 娘さんが先だったか？」と言葉を濁されました。長い伝統のある大龍寺の57代目として、仏像や秘伝を守られています、誰にでも気さくな態度で自然体の接し方に惹きこまれます。

### 1200年の歴史が身近になった

神護景雲2年（西暦768年）に和氣清麻呂公が寺塔建立の霊地を求めた際、僧道鏡の刺客に襲われたところを、大龍の出現で助かったというのが創建と寺名の由来です。



収納仏像の最初の公開

弘法大師空海が入唐前に祈願され、帰朝後に秘法を勤修されて、「再度山」と呼ばれるようになりました。

海と山との交易の場所でもあった修法ヶ原（しおがはら）に因む話で、1000年前にタイムスリップしました。今も残る原生林やシイの大木、外来種も含む様々な動物との共生、上下水道もない自然の中で生活される様子をうかがいました。神戸市内であって、観光地にはない静寂の世界が息づいていると印象づけられました。

井上副住職は仏教教誨師としてもご活躍です。講演の終盤は「健康に過ごす4つのこと」「仏の心」「無財の七施」など、心が洗われる説話もしていただきました。

### もっと六甲の歴史を訪ねてみよう

1200年の歴史・文化と自然が生き続けていることが実感できました。便利な楽しみを追いかけがちな日常ですが、少し足を延ばせば懐かしさが一杯の世界に巡り合うことができます。「宗教心とは別に、気軽にお立ち寄りください」という井上副住職のお言葉を受けて、六甲山の歴史・文化や自然を訪ねたいものです。

※詳しくは、1、2ページをお読みください。

### 参加の感想 吉野 京子さん

本日は、午前のボランティアから参加いたしました。実験区内のアセビとその他の樹木の区別と、生育計測です。午後のセミナーでは、千二百年を超える歴史ある大龍寺の縁起や、右手を挙げられた奈良時代の重文・菩薩立像のお話が興味深く、又、加古川少年院の教誨師でもあられる井上副住職の「優しい眼差し、愛ある言葉」が大事だと教えていただきました。



吉野 京子さん

原生林の残る再度山に静寂を求めて登山してみようと思います。

主催：六甲山自然保護センターを活用する会  
協力：兵庫県立人と自然の博物館  
後援：兵庫県神戸県民局 灘区役所 神戸市教育委員会

【助成金をいただいている機関】  
コベルコ環境保全基金、灘区役所  
公益信託自然保護ボランティアファンド、  
公益信託 TaKaRa ハーモニストファンド